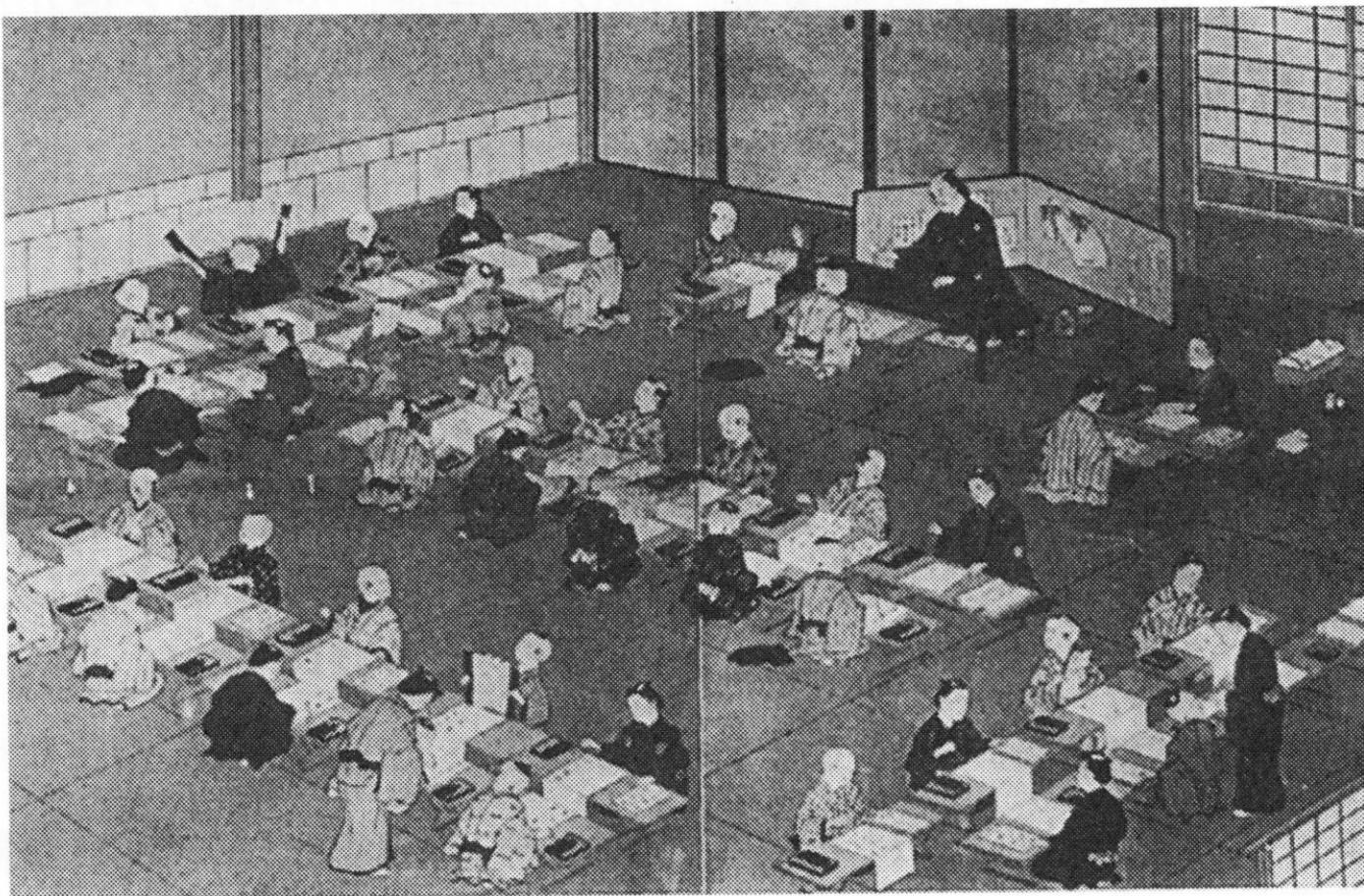




学校という制度： 教育の社会学・入門

苅谷剛彦

「※:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。」



1.1.2.1図 寺子屋での教育のようす（江戸時代）

資料出所：菅野誠・佐藤譲『日本の学校建築』文教ニュース社，1983年

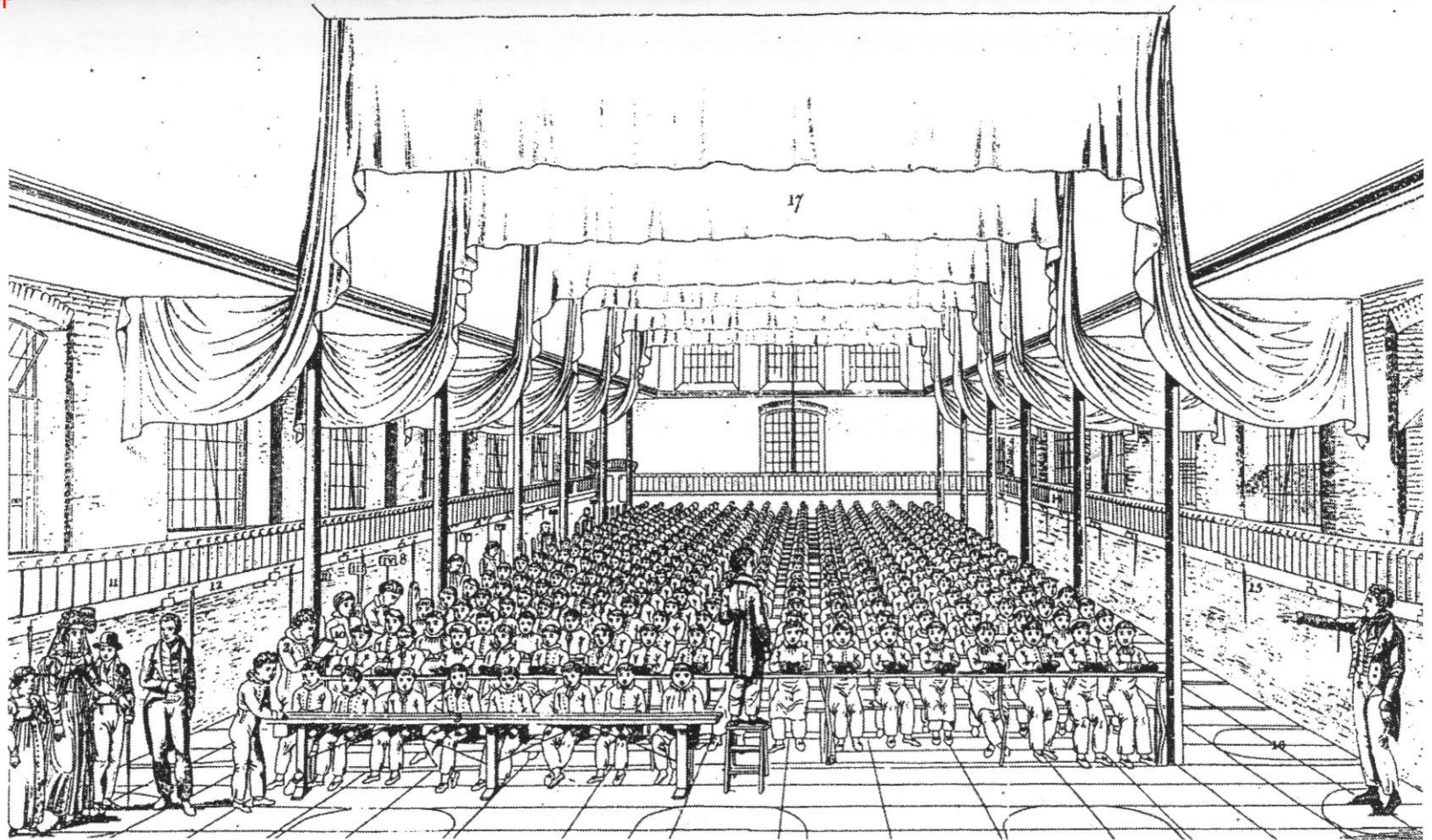


図2-1 モニトリアル・システムの教場 バラロード校全景。中央に立つジェネラル・モニターが全生徒に指示を与える。生徒はクラスごとに分けられ、机の端に立つクラス・モニターの統制下にある。右端の人物が教師、左端は見学者。壁にレッスンブックが掛けられている（内外学校協会〈B. F. S. S.〉の1837年版マニュアルより）

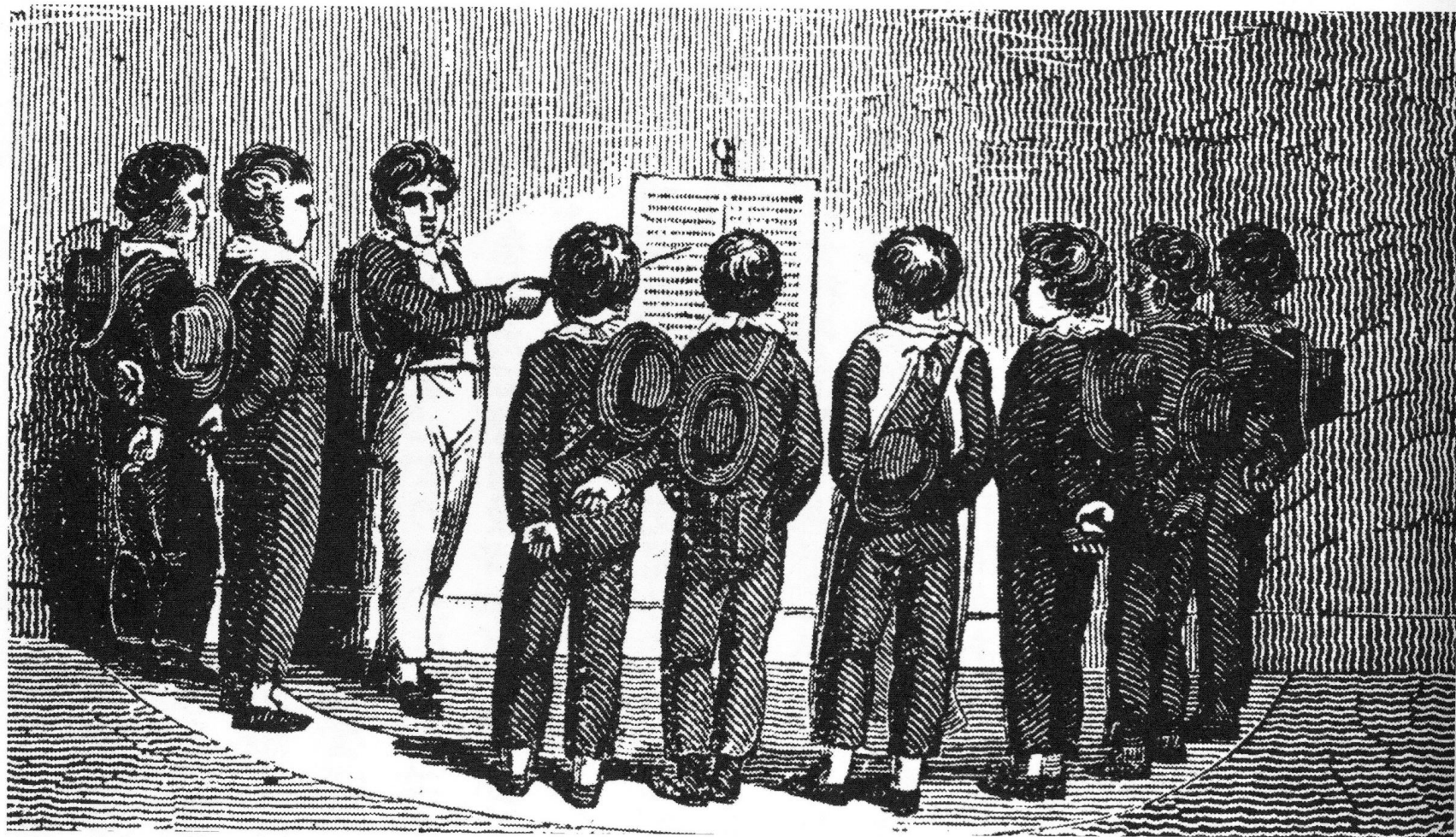


図2-5 モニターによる授業

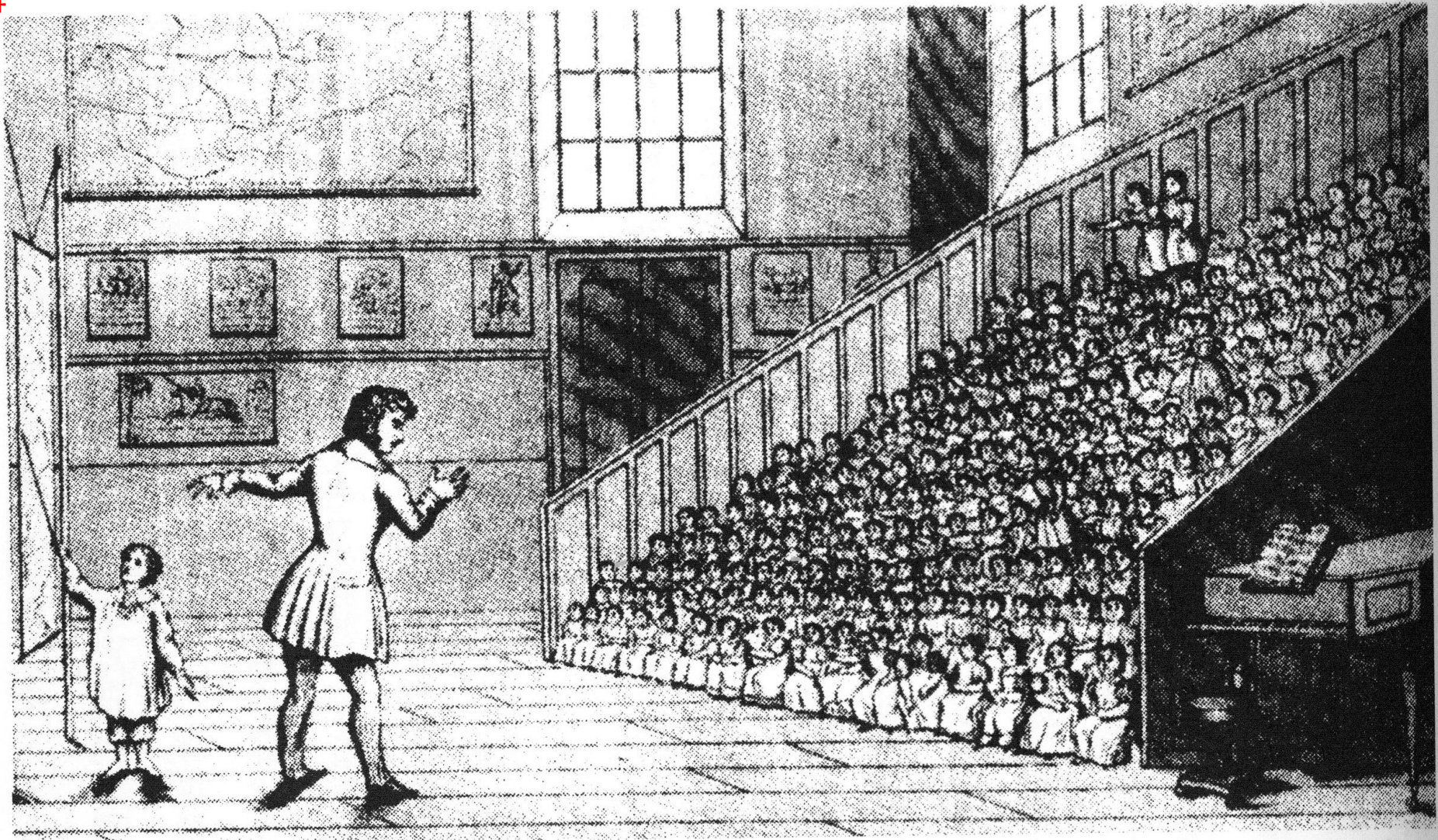


図3-2 ウィルダースピンのギャラリー方式の授業（ハミルトン『学校教育の理論に向けて』より）



図 5 教室風景

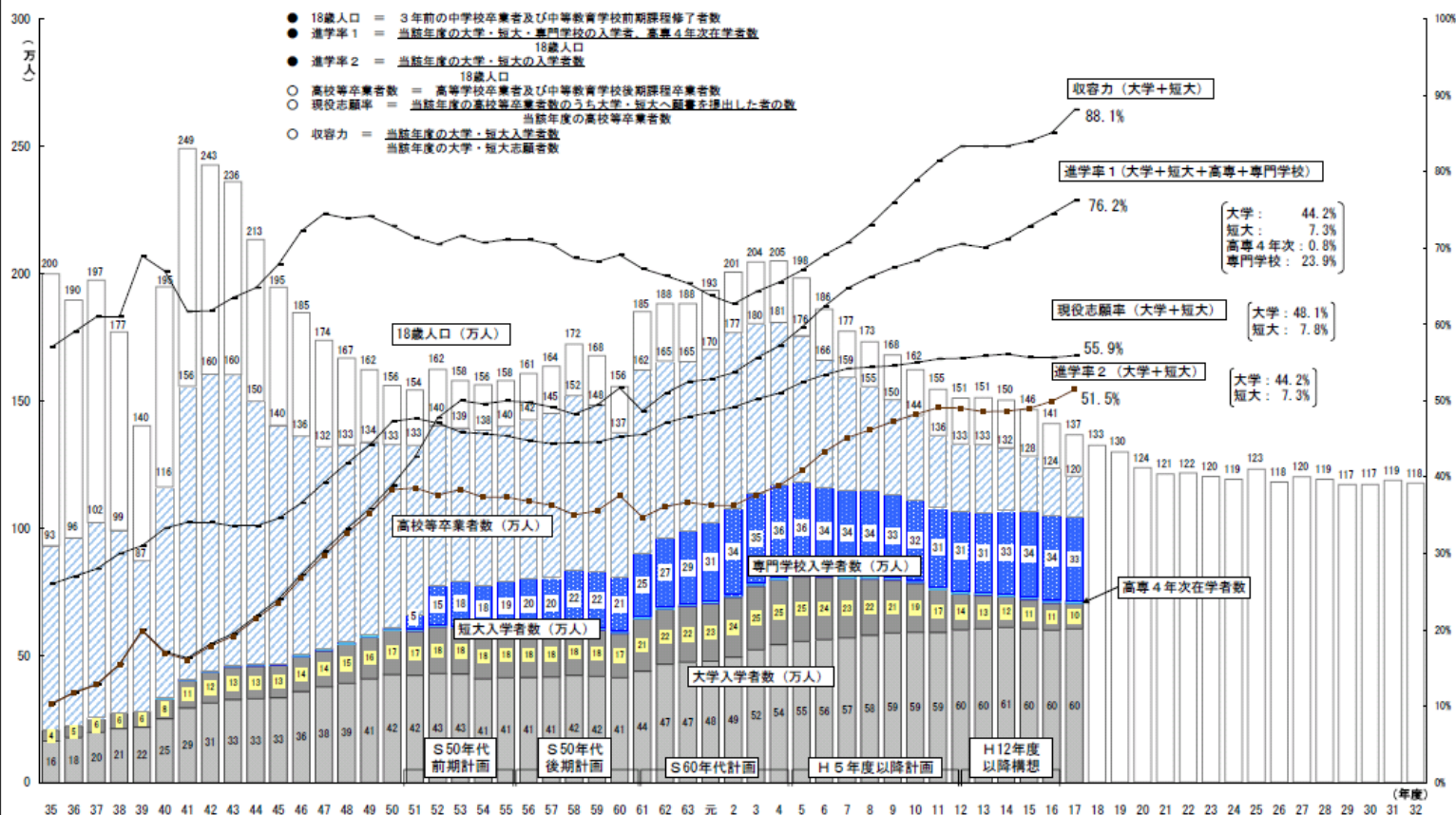
出典：林多一郎『小学教師必携補遺』
(1874 年).

クイズ

- Q1 化学式 CO_2 は()を表す
- Q2 英語の熟語 in front of の意味は()である
- Q3 関ヶ原の戦いは()年に起きた
- Q4 著書『行為と演技』を書いたアメリカの社会学者は()である
- Q5 嵐のメンバー、相葉 雅紀は()県出身である

高等教育進学率の推移

18歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移



文部科学省「学校基本調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成14年1月推計）より文部科学省作成

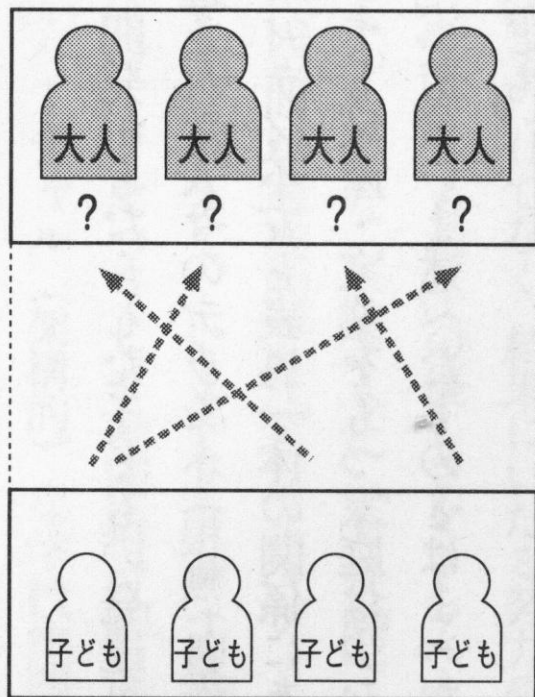


図 3

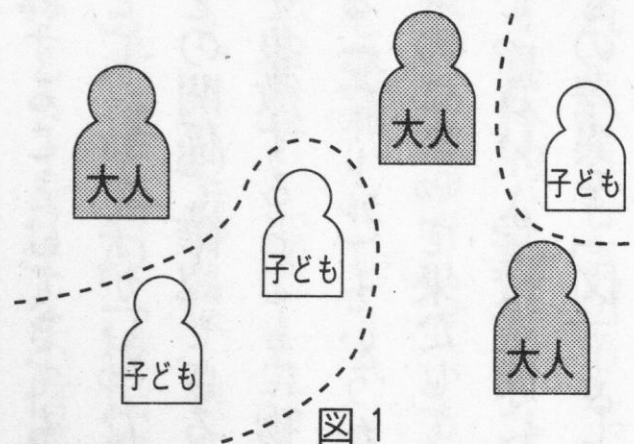


図 1

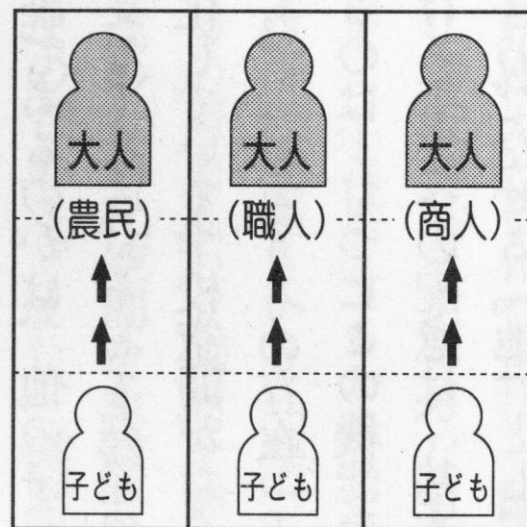


図 2

「何にでもなれる誰でもない人」

- 生まれたばかりの赤ん坊
- 何になるか。
- 何になれるか。
- 誰にでもチャンスを与える

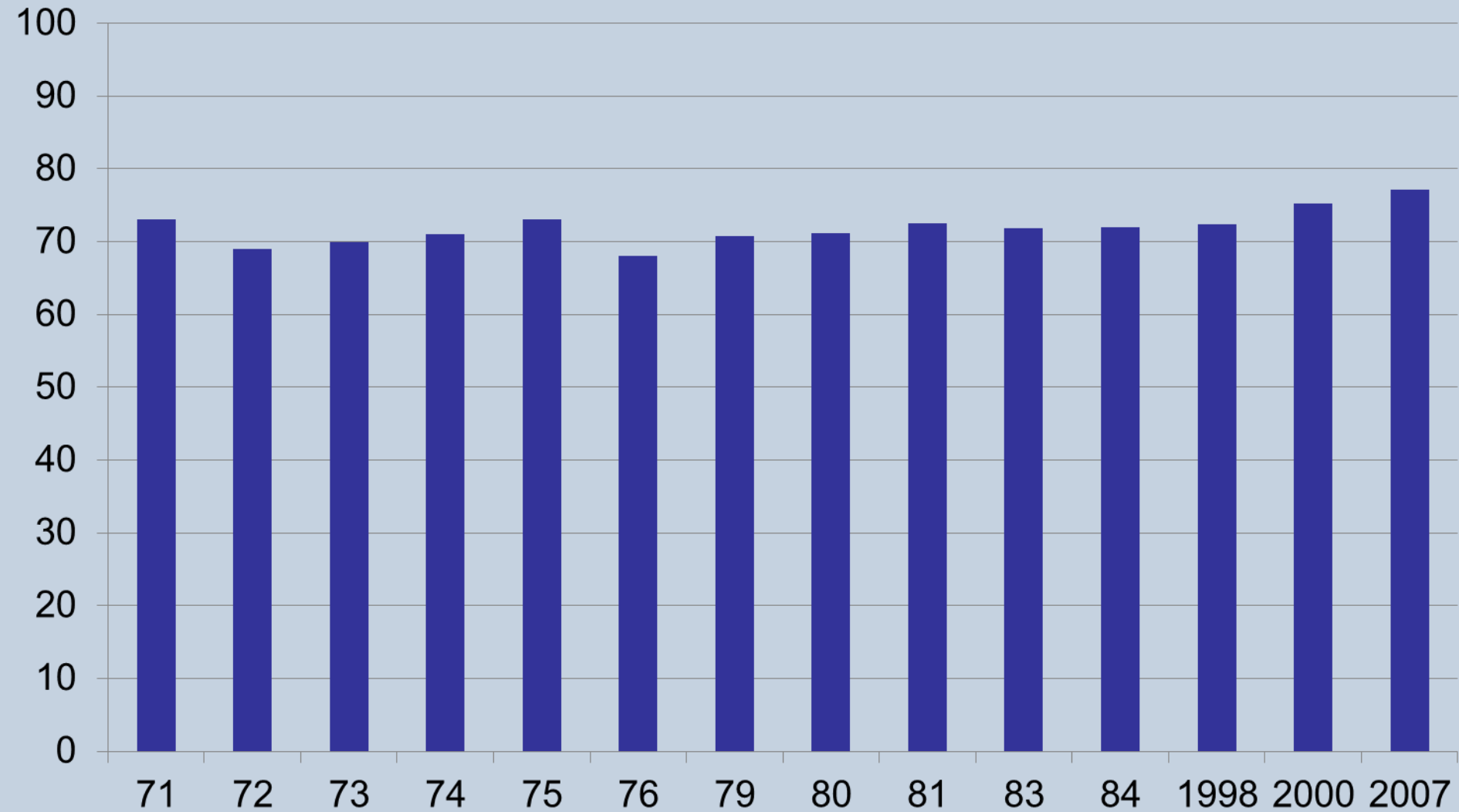


✚ http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:Crying_newborn.jpg

「教育」「学校」の役割

- 「教育」は子どもが大人になるまでの過程に関わる社会的な営み
- 知識・技術の伝達、「個人」の全面発達＝自立をたすける営み（「人格の完成」）
- 「誰でもないが誰にでもなれる」存在としての子どもを「誰か」にしていく過程（森重雄「学校の空間性と神話性」1998）
 - 「何にでもなれる＜自分＞」の自己実現をたすける営み
- 平等と自由と個人の発達に関わる公教育

※ 東京大学学生の上層ノンマニュアル出身者比率



教育の平等をめぐるトリレンマ(三すくみ状態)

- **メリット(業績)と報酬**
- **平等**
- **家族の自律性(子育ての自由)**